

# つくばみらい市の田んぼアート



(表紙写真提供：つくばみらい市)  
写真は2017年7月の様子

つくばエクスプレスは開通から12年が経ち、沿線部は都市化が進んでいます。一方、つくばみらい市は駅周辺や国道沿線を除き、いまだ懐かしい農村風景や自然環境が多く残っています。

本市は鬼怒川や小貝川が流れ、古来より豊富な水の恵みが溢れるまちです。特に水田地域は美味しい稲が育つとして「谷原三万石」として知られ、現在もコシヒカリの生産地として名高く、良質な米を安定して供給しています。

そこで本市は「米どころ」という強みをアピールするため、平成17年からつくばエクスプレス高架下の田園を活用して「田んぼアート」を展開しています。

この田んぼアートは、つくばエクスプレスの車窓から見渡せる田んぼを“キャンパス”に見立て、5月頃に“絵の具”となる稲を植え、実りの秋には文字やイラストが浮かび上がるという仕組みです。

模様を描く稲は、草丈が短く、葉の色も多様な古代米の稲（紫稲、黄稲、白稲、赤稲）を使用するなど工夫しています。

この取り組みは、市民団体が中心となってはじめた活動で、今年で12年目になります。田んぼアートの内容は「ありがとう」など作者のメッセージが込められた文字をはじめ、市政10周年記念時には、本市のロゴマークが描かれました。

今年のテーマは「ここちいいところ」。都心から程良く離れ、穏やかな時間が流れる本市の良さを表現しています。

この初秋、つくばエクスプレスの車窓から、色彩豊かな稲穂による田んぼアートを楽しんでみてはいかがでしょうか。



◆住所：つくばみらい市下小目地区  
つくばから東京に向かう電車に乗ると、右側の車窓から見る事ができる

稲刈りイベント：10月8日(日)

※イベントの詳細はつくばみらい市観光協会まで